

加筆: 赤字

修正: 青字

削除: 赤字

令和 5 (2023) 年度 競技規則書 新旧対応表

2023 (令和 5) 年 3 月 1 日発行

競技・審判本部

旧 (2022 年 3 月 1 日発行)	新 (2023 年 4 月 1 日発行)	備考
<p>1 の 9</p> <p>スローオフエリアと呼ぶ直径 4 m の円を, センターライン中央に配置する (図 1b および 図 1c, 10 : 5 を参照)。</p> <p>～省略～</p>	<p>1 の 9</p> <p>スローオフエリアと呼ぶ直径 4 m の円を, センターライン中央に配置する (図 1b および 図 1c, 10 : 3b を参照)。</p> <p>～省略～</p>	<p>(第 1 段落)</p> <p>修正</p>
<p>4 の 2</p> <p>～省略～</p> <p>競技の開始後「チーム責任者」は, 競技への参加資格を持つチーム役員 (4 名以下) とプレーヤー (4 : 3 を参照) が交代地域規定に則り競技に参加するよう, あるいはそれ以外の者が交代地域に入らないよう管理する責任を持つ。この規定に違反した場合は, 「チーム責任者」に罰則を段階的に適用する (16 : 1b, 16 : 3e, 16 : 6c)。</p>	<p>～省略～</p> <p>競技の開始後「チーム責任者」は, 競技への参加資格を持つチーム役員 (4 名以下) とプレーヤー (4 : 3 を参照) が交代地域規定に則り競技に参加するよう, あるいはそれ以外の者が交代地域に入らないよう管理する責任を持つ。この規定に違反した場合は, 「チーム責任者」に罰則を段階的に適用する (16 : 1b, 16 : 3e, 16 : 6c)。</p> <p>【注】 IHF、大陸連盟大会、国内大会において、主催者の権限でチーム役員の人数を決定できる。ただし、その人数は 5 名以下とする。</p>	<p>加筆</p>
<p>7 の 6</p> <p><u>床に膝をつきながら, 座りながら, あるいは横たわりながら</u> ボールを扱うこと。この条文は, <u>片足の一部を床に終始つけていなければならない</u> など競技規則 15 : 1 に記載した条件を満たしているならば, このような体勢で (フリースローなどの) スローを行ってよいということを意味する。</p>	<p><u>床に膝をつきながら, 座りながら, あるいは横たわりながら</u> ボールを扱うこと (ただし, 15 : 1 を参照)。</p>	<p>修正</p>
<p>10 の 3</p> <p>(左右に約 1.5 m を許容範囲として) コートの中央からどの方向へもスローオフを行ってもよい。笛の合図から 3 秒以内にス</p>	<p>スローオフエリア設置の有無によって, 以下のいずれかの条項を適用する。</p> <p>a スローオフエリアを採用しないコートでのスローオフ</p> <p>(コートの中央から左右に約 1.5 m を許容範囲として) センターライン中央からどの方向へもスローオフを行ってもよい。笛</p>	<p>加筆</p> <p>加筆</p> <p>修正</p>

旧 (2022年3月1日発行)	新 (2023年4月1日発行)	備考
<p>ローオフを行わなければならない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落)。スローを行うプレイヤーは、少なくとも片足をセンターライン上に、そして他方の足をセンターライン上または自陣側 (15 : 6) に置き、さらにボールを手から離すまでその位置にいなければならない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落、競技規則解釈 5 を参照)。</p> <p>スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、笛の合図よりも前にセンターラインを踏み越えてはならない (15 : 6)。</p> <p>10-5</p> <p>(a) <u>スローオフエリアから</u>どの方向へもスローオフを行ってもよい。笛の合図から 3 秒以内にスローオフを行わなければならない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落)。</p> <p>(b) ボールがスローオフエリアの中にあり、少なくともスローを行うプレイヤーの片足がスローオフエリアの中にあるとき、レフェリーはスローオフの笛を吹くことができる (15 : 6)。</p> <p>(c) スローを行うプレイヤーは、スローオフが完了したとみなされるまで、身体はどこか一部がスローオフエリアラインを越えてはならない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落)。</p> <p>(d) スローを行うプレイヤーは、スローオフエリアの中でボールを持って動くことが許される。ただし、笛の合図の後にボールをドリブルすることは許されない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落)。</p> <p>(e) スローを行うプレイヤーは、スローオフを走りながら行うことが許される。ただし、実施中にジャンプをすることは許されない (13 : 1a, 15 :</p>	<p>の合図から 3 秒以内にスローオフを行わなければならない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落)。スローを行うプレイヤーは、少なくとも片足をセンターライン上に、そして他方の足をセンターライン上または自陣側 (15 : 6) に置き、さらにボールを手から離すまでその位置にいなければならない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落、競技規則解釈 5 を参照)。</p> <p>スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、笛の合図よりも前にセンターラインを踏み越えてはならない (15 : 6)。</p> <p>b スローオフエリアを設置したコートでのスローオフ</p> <p>— <u>スローオフエリアから</u>どの方向へもスローオフを行ってもよい。笛の合図から 3 秒以内にスローオフを行わなければならない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落)。</p> <p>— ボールがスローオフエリアの中にあり、少なくともスローを行うプレイヤーの片足がスローオフエリアの中にあるとき、レフェリーはスローオフの笛を吹くことができる (15 : 6)。</p> <p>— スローを行うプレイヤーは、スローオフが完了したとみなされるまで、身体はどこか一部がスローオフエリアラインを越えてはならない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落)。</p> <p>— スローを行うプレイヤーは、スローオフエリアの中でボールを持って動くことが許される。ただし、笛の合図の後にボールをドリブルすることは許されない (13 : 1a, 15 : 7 第 3 段落)。</p> <p>— スローを行うプレイヤーは、スローオフを走りながら行うことが許される。ただし、実施中にジャンプをすることは許されない (13 : 1a, 15 : 7 第</p>	<p>削 除 加 筆</p> <p>修 正 (現行 10 : 5 から移動)</p>

旧 (2022年3月1日発行)	新 (2023年4月1日発行)	備考
<p>7 第 3 段落)。</p> <p>(f) 次の場合に、スローオフを行ったと見なす。</p> <ul style="list-style-type: none"> スローを行うプレイヤーの手からボールが離れ、<u>さらに</u>ボールがスローオフエリアラインを完全に通過したとき。 スローを行うプレイヤーからパスされたボールを、味方のプレイヤーがスローオフエリアの中で触れた、あるいはコントロールしたとき。 <p>(g) スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、スローオフエリアの中を除き、笛の合図よりも前にセンターラインを踏み越えてはならない (15 : 6)。</p> <p>(h) スローを行うチームの相手チームのプレイヤーは、スローオフエリアの外にいないなければならない。<u>さらに</u>、スローオフを行ったと見なされるまで、スローを行うチームの相手チームのプレイヤーは、スローオフエリアの中でボールやスローを行うプレイヤー、およびその味方のプレイヤーに触れることはできない (15 : 4, 8 : 7c)。ただし、スローオフエリアのすぐ外にいてもよい。</p>	<p>3 段落)。</p> <p>— 次の場合に、スローオフを行ったと見なす。</p> <ul style="list-style-type: none"> スローを行うプレイヤーの手からボールが離れ、<u>さらに</u>ボールがスローオフエリアラインを完全に通過したとき。 スローを行うプレイヤーからパスされたボールを、味方のプレイヤーがスローオフエリアの中で触れた、あるいはコントロールしたとき。 <p>— スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、スローオフエリアの中を除き、笛の合図よりも前にセンターラインを踏み越えてはならない (15 : 6)。</p> <p>— スローを行うチームの相手チームのプレイヤーは、スローオフエリアの外にいないなければならない。<u>さらに</u>、スローオフを行ったと見なされるまで、スローを行うチームの相手チームのプレイヤーは、スローオフエリアの中でボールやスローを行うプレイヤー、およびその味方のプレイヤーに触れることはできない (15 : 4, 8 : 7c)。ただし、スローオフエリアのすぐ外にいてもよい。</p>	
<p>10 の 4</p> <p>(延長戦も含めて) <u>前後半の開始時</u>のスローオフに際して、すべてのプレイヤーは自陣のサイドにいないなければならない。</p> <p>しかし、<u>得点の後</u>のスローオフに際しては、スローを行うチームの相手チームのプレイヤーはコートのもう一つのサイドにいてもよい。</p> <p><u>ただしどちらの場合でも、スローを行うチームの相手チームのプレイヤーは、スローを行うプレイヤーから 3 m 以上離れてい</u></p>	<p>(延長戦も含めて) <u>前後半の開始時</u>のスローオフに際して、すべてのプレイヤーは自陣のサイド、または該当する場合はスローオフエリアの中にいないなければならない。</p> <p>しかし、<u>得点の後</u>のスローオフに際しては、スローを行うチームの相手チームのプレイヤーはコートのもう一つのサイドにいてもよい。</p> <p><u>スローオフエリアを採用しないコートでスローオフを行う場合 (10 : 3a)</u>、相手チームのプレイヤーは、スローオフを行うプレ</p>	<p>加 筆</p> <p>修 正</p>

旧 (2022年3月1日発行)	新 (2023年4月1日発行)	備考
なければならぬ (15:4, 15:9, 8:7c)。	一ヤーから 3 m 以上離れていなければならぬ (15:4, 15:9, 8:7c)。 スローオフエリアを設置したコートでスローオフを行う場合 (10:3b), 相手チームのプレイヤーは, 体全体がスローオフエリアラインの外側にいなければならぬ (15:4, 15:9, 8:7c)。	
13 の 1 (a) ボールを所持しているチームが規則に違反し, その結果ボールの所持を失わなければならない場合 (4:2 ~ 3, 4:5 ~ 6, 4:7 ~ 8 , 4:9, 5:6 ~ 10, 6:5 第 1 段落, 6:7b, 7:2 ~ 4, 7:7 ~ 8, 7:10, 7:11 ~ 12, 8:2 ~ 10, 10:3, 10:5 , 11:4, 13:7, 14:4 ~ 7, 15:7 第 3 段落, 15:8 を参照)。	(a) ボールを所持しているチームが規則に違反し, その結果ボールの所持を失わなければならない場合 (4:2 ~ 3, 4:5 ~ 6, 4:9, 5:6 ~ 10, 6:5 第 1 段落, 6:7b, 7:2 ~ 4, 7:7 ~ 8, 7:10, 7:11 ~ 12, 8:2 ~ 10, 10:3, 11:4, 13:7, 14:4 ~ 7, 15:7 第 3 段落, 15:8 を参照)。	削除 削除
15 の 1 ~省略~ ゴールキーパー・スロー (12:2) とスローオフエリアを用いて実施するスローオフ (10:5) の場合を除き各種スローの実施中は, ボールを手から離すまでスローを行うプレイヤーは片足の一部を終始, 床につけていなければならない (ただし, 10:5 を参照)。他方の足は繰り返しあげおろしすることができる (7:6 を参照)。 スローを行うプレイヤーは, スローを実施されるまで正しい位置にいなければならない (15:7 第 2, 3 段落)。	~省略~ ゴールキーパー・スロー (12:2) とスローオフエリアを用いて実施するスローオフ (10:3b) の場合を除き各種スローの実施中は, ボールを手から離すまでスローを行うプレイヤーは片足の一部を終始, 床につけていなければならない (ただし, 10:3b を参照)。他方の足は繰り返しあげおろしすることができる (7:6 を参照)。 スローを行うプレイヤーは, スローを実施されるまで正しい位置にいなければならない (15:7 第 2, 3 段落)。 【注】 スロー (ゴールキーパー・スローを除く) を実施する前に, スローを行うプレイヤーは, 立っていないといけない。立つとは, 足以外の身体の部位が床に触れてはならないことを意味する。	(第 2 段落以降) 修正 加筆
15 の 2 スローを行うプレイヤーがボールを手から離れたとき, スローを行ったと見なす	スローを行うプレイヤーがボールを手から離れたとき, スローを行ったと見なす	(第 1 段落)

旧 (2022年3月1日発行)	新 (2023年4月1日発行)	備考
(ただし, 12:2, 10:3 第2段落, 10:5 を参照)。 ～省略～	(ただし, 12:2, 10:3a 第2段落, 10:3b を参照)。 ～省略～	修正
15の3 スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは, 該当するスローに関して規定された位置を取らなければならない (15:6)。競技規則 10:3 第2段落に示した場合を除いて, スローを行うプレイヤーがボールを手から離すまで, プレイヤーは正しい位置にとどまっていなければならない (ただし, 10:5 を参照)。 ～省略～	スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは, 該当するスローに関して規定された位置を取らなければならない (15:6)。競技規則 10:3a 第2段落に示した場合を除いて, スローを行うプレイヤーがボールを手から離すまで, プレイヤーは正しい位置にとどまっていなければならない (ただし, 10:3b を参照)。 ～省略～	(第1段落) 修正
15の4 防御側プレイヤーは, 該当するスローに関して規定された位置を取り, スローを行うプレイヤーがボールを手から離すまで正しい位置にとどまっていなければならない (ただし, 10:5, 12:2, 15:9 を参照)。 ～省略～	15の4 防御側プレイヤーは, 該当するスローに関して規定された位置を取り, スローを行うプレイヤーがボールを手から離すまで正しい位置にとどまっていなければならない (ただし, 10:3b, 12:2, 15:9 を参照)。 ～省略～	(第1段落) 修正
15の5 (a) スローオフ (10:3, 10:5), 7 m スロー (14:4) の場合は毎回。 ～省略～	(a) スローオフ (10:3), 7 m スロー (14:4) の場合は毎回。 ～省略～	削除
15の7 ～省略～ 再開の合図後の場合, スローの実施中のすべての違反に対し, 原則的に違反として判定する。例えば, スローを行うプレイヤーが実施中にジャンプした, 3秒より長くボールを持った, あるいはボールを手から離す前に正しい位置から移動した場合に, この規定を適用する。笛の合図の後でスローを行うプレイヤーがボールを手から離す前に, その味方のプレイヤーが不正な位置に侵入した場合にも, この規定を適用する (10:3 第2段落を参照)。 ～省略～	～省略～ 再開の合図後の場合, スローの実施中のすべての違反に対し, 原則的に違反として判定する。例えば, スローを行うプレイヤーが実施中にジャンプした, 3秒より長くボールを持った, あるいはボールを手から離す前に正しい位置から移動した場合に, この規定を適用する。笛の合図の後でスローを行うプレイヤーがボールを手から離す前に, その味方のプレイヤーが不正な位置に侵入した場合にも, この規定を適用する (10:3a 第2段落を参照)。 ～省略～	(第3段落) 修正

旧 (2022年3月1日発行)	新 (2023年4月1日発行)	備考
<p>ジェスチャー</p> <p>(例)</p> <p>1. ゴールエリアへの侵入</p>  <p>2. イリーガルドリブル (不正ドリブル)</p> 	<p>(例)</p> <p>1. ゴールエリアへの侵入</p>  <p>2. イリーガルドリブル (不正ドリブル)</p> 	<p>修正 (掲載写真の変更のみ)</p>
<p>競技規則解釈3 チームタイムアウト</p> <p>～省略～</p> <p>レフェリーの笛の合図で、タイムキーパーは時計を始動させる。</p> <p>【注】</p> <p>IHF大会、大陸連盟大会、または国内大会において、競技規則 2:10【注】～省略～</p>	<p>～省略～</p> <p>レフェリーの笛の合図で、タイムキーパーは時計を始動させる。</p> <p>チームはグリーンカードを使用する代わりに、ブザーを押すことによって、チームタイムアウトを請求することができる。ブザーは公示時計に直接接続されており、ブザーが押されると、競技時間は停止となる。チームタイムアウトが請求されたことをすべての関係者に知らせるために、請求は音で示される。詳細については、チームタイムアウト電子申請システム規定を参照にすること。</p> <p>【注】システム</p> <p>IHF大会、大陸連盟大会、または国内大会において、競技規則 2:10【注】～省略～</p>	<p>(最終段落後)</p> <p>加筆</p>

旧 (2022年3月1日発行)	新 (2023年4月1日発行)	備考
<p>競技規則運用に関するガイドライン</p> <p>“3mの距離を確保しない”とき(8:10c)</p> <p>～省略～</p> <p>もし、各種スローの実施の際に、3mより近い位置にいる相手プレーヤーが、例えばブロックするなどによりスローの結果やスローの実施を積極的に妨害した場合、競技規則8:10cを適用する。ゴールキーパーのスローの際、ゴールキーパーが投げたボールが、ゴールエリアラインを完全に通過しない状況で妨害した(12:2)際も同様に適用する。</p> <p>～省略～</p>	<p>～省略～</p> <p>もし、各種スローの実施の際に、3mより近い位置にいる相手プレーヤーが、例えばブロックするなどによりスローの結果やスローの実施を積極的に妨害した場合、競技規則8:10cを適用する。</p> <p>～省略～</p>	<p>(基本的には、2020年までに出された内容を、条文順で整理)</p> <p>削除</p>
<p>ビデオ判定の導入</p> <p>ビデオ判定の導入によって、得点かどうかの判定が必要とされる場合、得点の取り消しは現行では次のスローオフまで(9:2)となっているが、より長い期限が必要となる。その期限を、次のスローオフまでではなく、スローオフのあと、次のボール所持が変わるまでとする。</p>	<p>ビデオ判定の導入(9:2)</p> <p>ビデオ判定の導入によって、得点かどうかの判定が必要とされる場合、得点の取り消しは現行では次のスローオフまで(9:2)となっているが、より長い期限が必要となる。その期限を、次のスローオフまでではなく、スローオフのあと、次のボール所持が変わるまでとする。</p> <p>詳細については、ビデオ判定システム規定を参照にすること。</p>	<p>加筆</p> <p>加筆</p>
	<p>チームタイムアウト電子申請システム規定</p>	<p>新設</p>
	<p>ビデオ判定システム規定</p>	<p>新設</p>